



## 食味・品質とも最高級の「岩船米」をつくらう！

- 日本一を目指す「岩船米」は、「全量1等」を目標に、より一層の食味・品質向上が必要です。
- 消費者の皆様から喜んで食べてもらえる「おいしい岩船米」を届けるために、基本に立ち返り、苗づくりと土づくりを見直して春作業を計画的に進めましょう。



岩越 岩

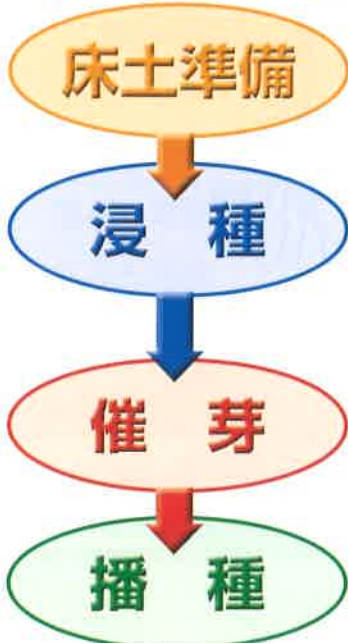
### 1 育苗準備は計画的に ～「苗代半作」～

- 高品質米の安定生産には、健苗育成が重要です。健苗を移植することによって、活着を良好にし、初期の分けつを確保することで、良質茎の早期確保につながり、品質・収量の安定につながります。
- 育苗は田植えから逆算して開始し、うす播きと老化苗防止（適正育苗日数）・移植前追肥で活着の良い苗にしましょう。
- 今年は暑い夏が予想されます。適期田植に合わせて、コシヒカリは下図をめやすに稚苗育苗計画を立て播種しましょう。その他品種は4月15日以降から播種しましょう。

#### ◇稚苗育苗作業のめやす(コシヒカリ5/10移植の場合)

日付	4月																				5月																					
	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火			
無加温	浸種													▼	催芽				▼	出芽				緑化	硬化										▼	移植						
														播種																					▲	移植前追肥						
加温															浸種				▼	催芽				▼	出芽				緑化	硬化										▼	移植	
																			播種																▲	移植前追肥						

#### ◇床土準備から播種まで



- ・病害発生が少ない専用の育苗用土（床土・覆土）を使用しましょう。
- ・細菌性病害対策を必ず行いましょう。

- ・浸種水温は開始時から10～15℃を確保（特に初日は10℃未満にしない）し、積算温度100℃を目安としてください。
- ・浸種始めから2～3日に1回必ず水を交換してください。
- ※浸種初期の低水温（10℃未満）は発芽揃いを悪くするので避ける


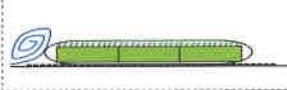
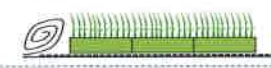
- ・催芽温度は30℃に設定してください。
- ・30℃を超える高温では、もみ枯細菌病、褐条病等の発生の危険が高まるので、温度を上げすぎないように注意してください。

- ・播種量は乾粉で130～140g/箱（催芽粉で160～175g/箱）程度の薄まきとしてください。

# ◇規格苗(健苗)育成のための管理のポイント

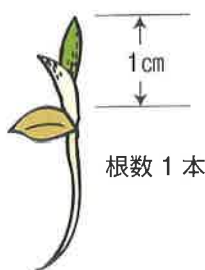
～こまめな温度管理を徹底して苗ヤケや徒長苗を防ごう～

**温度管理が最重要!!**

	出芽期(加温: 4/24~26頃) (無加温: 4/20~26頃)	緑化期 (4/26頃~)	硬化期(4/29頃~)
期間	加温出芽 2日	無加温出芽 5~7日	2~4日
温度	30℃ 30℃を超えない	昼: 30℃以下 夜: 15℃以上 夜間低温注意	昼: 20~25℃ 夜: 15~18℃ 苗ヤケに注意
被覆等	<ul style="list-style-type: none"> <li>芽の伸びすぎに注意</li> <li>被覆資材で保温し出芽させる</li> <li>シルバーポリトウ #80+ラブシートの二重被覆</li> <li>ハウス内温度が30℃以上になったら換気</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラブシートのみの一重被覆</li> <li>低温時は二重被覆で保温に努める。</li> <li>第1葉が展開したら硬化に移る</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>無被覆(低温時はラブシートで被覆)</li> <li>外気に慣らし、硬化を徹底</li> <li>田植え1週間前から夜間もハウス側面を開放</li> </ul> 
水管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>播種時に十分かん水する</li> <li>覆土の持ち上がりが見られたら、さっとかん水して緑化に移す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>土が乾いている場合は、遅くとも午前10時までにかん水</li> <li>過湿に注意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前半は1日1回午前中にかん水</li> <li>後半は1日1~2回十分にかん水(夕方のかん水は厳禁)</li> </ul>
		慣行育苗	プール育苗
		慣行育苗	プール育苗

## 出芽終了時

- 出芽長は0.5~1cmとする  
[コシヒカリ: 0.5cm  
こしいぶきなど苗丈が短い品種: 1cm]

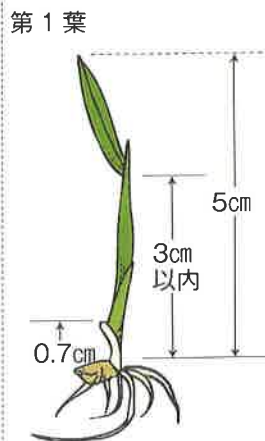


晴れた日は、  
ハウス内の高温に注意!

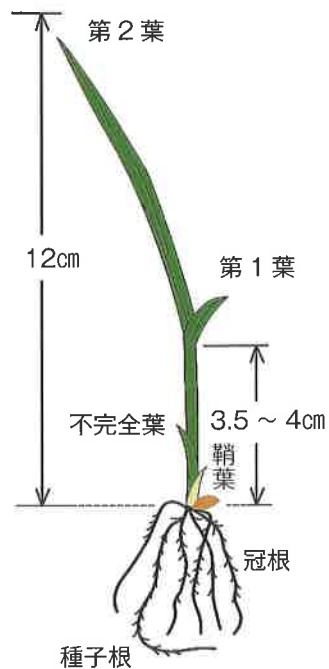
岩越まい

## 緑化終了時

- 第1葉鞘長3cmで、  
第1葉が完全展開した時



## 硬化終了時



### 【晴天時苗ヤケに注意】

- 直射日光の強い日は十分に換気し、苗ヤケの発生を防止する
- ハウスのビニールが新しい場合など高温になりやすい場合は、寒冷紗等で高温対策を行う

### 【ムレ苗の防止】

- 温度の急変(8℃以下、35℃以上)でムレ苗が発生しやすくなるので注意する
- 特に小さいハウスは温度変化が大きいので注意する

### 【田植え4~5日前に弁当肥】

- 箱当たりチッソ成分で1~2gの追肥で苗の活力を高める
- 徒長苗には施用しない。

**重要**

※表中の日付はコシヒカリを5月10日に移植する場合の目安です。

生育目標

その他

## ◇ばか苗病・いもち病の防除徹底

○ばか苗病が目立つほ場が見受けられます。発病させない予防的防除を心がけましょう。

### 《ばか苗病予防の5つのポイント》

- ① 育苗施設周辺から前年の籾殻・わらを除去してください。
- ② 種子は低温・低湿度で清潔なところで管理してください。
- ③ 特に自家採種の場合は、塩水選を必ず行って、感染籾を除去してください。
- ④ 催芽は30℃で行い、ばか苗病の生育適温である26℃に近づけないようにしてください。
- ⑤ 昨年、ばか苗病が発生したところは、種籾の薬剤防除を実施してください。  
(温湯消毒の場合、生物農薬を加えることで、防除効果が上がります。)

## いもち病常発地では、必ず育苗箱施用剤を使用してください

○いもち病の常発地では、コシヒカリBLでも箱施用剤を使用して、予防的に葉いもち防除を行ってください。

○箱粒剤は製品によって使用時期が異なります。必ず使用基準を確認してから使いましょう。

## 2 安定栽培には土づくりが不可欠 ～「精農は土をつくる」～

### ①施肥・耕うん前にほ場を十分に乾かしましょう！

- 消雪後早めに水田の見回りを行い、点検補修に努めましょう。
- 融雪水や雨水がほ場に停滞しないよう排水を促し、耕起前にほ場を乾かしましょう。
- 春分の日をめやすに暗渠栓を開け、ほ場の乾燥を進め、乾土効果の向上を図りましょう。

### ②耕うん前に土づくりを行いましょ！

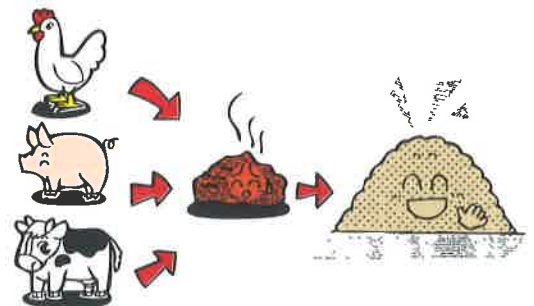
#### ◇堆肥を積極的に施用しましょ！～春の堆肥・鶏ふん施用は基肥チッソの減量を～

○堆肥や鶏ふんを春に施用すると、緩効性のチッソとして基肥の効果が期待出来ます。初期生育が不良なほ場、秋落ちするほ場ではとても役に立ちます。なお、肥沃で倒伏しやすいほ場を使用する場合には基肥チッソを減量しましょ。

表1 堆肥施用量のめやす

堆肥の種類	施用量 (t/10a)
発酵鶏ふん	0.1
豚ふん堆肥	0.3
牛ふん堆肥	1.0

チッソ成分  
1kg相当は  
これ



※発酵鶏ふん・豚ふん堆肥は、窒素成分量が高めなので、過剰施用に注意する。

○堆肥や鶏ふんの施用でリン酸やカリ等が補給されます。

○低地力ほ場で減化学肥料栽培を行う場合、基肥に鶏ふんを加えることで、最高分げつ期頃までの莖数が無施用に比べて1～2割増えるため、穂数の確保が容易になります。

## ◆土づくりの徹底で「除く青未熟粒」の解消を！

昨年の格落ち理由の主因「除く青未熟粒」の発生には様々な要因がありますが、気象要因以外では土づくり不足の影響が大きくなっています。地力の低いほ場では、堆肥等の有機物の施用を行い、ケイ酸やリン酸、鉄が少ないほ場では、JA等の土壌診断結果に基づき必要な資材を必要量施用しましょう。

表2 土づくり肥料と施用量のめやす

分類	品目	施用量 (10a当たり)
けい酸 混合肥料	すくすく岩船米ソイル元気	60kg
	ソイルキーパー	40kg
りん酸 肥料	粒状ようりん	40~60kg
	ダブリン特17号	40kg
けい酸 肥料	ケイカル	120~200kg
	けい酸加里プレミア34	20~40kg
	スーパーシリカプレミアム	60~100kg
含鉄 資材	農カアップ	60~100kg
	みつパワー	60~120kg

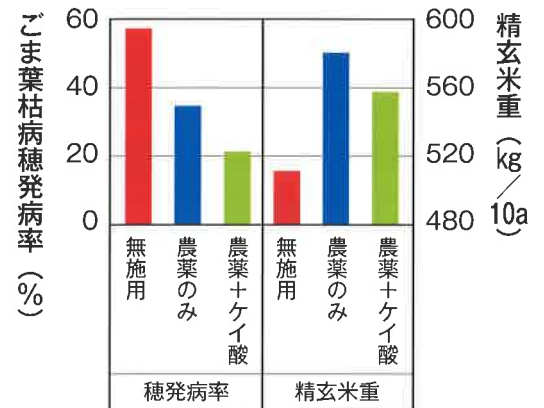


図1 ごま葉枯病に対するけい酸施用の効果

- ・堆肥等も活用して土づくりを積極的に行いましょう。
- ・ごま葉枯病の常発ほ場は、けい酸の施用で防除効果も安定し、収量も向上します。

## ③品種の用途別に、目的に合わせた基肥を施用しよう！

コシヒカリ等食味・品質の向上を目指す品種は、品質が確保できるよう地力に合わせた基肥チッソを施用しましょう。業務用米や飼料用米等多収穫を目指す品種は、化学肥料主体の基肥チッソでスタートダッシュを図りましょう。

表3 コシヒカリの基肥チッソ量のめやす

分類	施肥体系	基肥チッソ量 (10a当たり)
標準地力 ほ場	基肥+穂肥	3.0kg
	基肥一発	4.5~5.3kg
低地力 ほ場	基肥+穂肥	4.0kg
	基肥一発	6.0~7.2kg

表4 多収性品種の基肥チッソ量のめやす

区分	施肥体系	基肥チッソ量 (10a当たり)
業務用米	基肥+穂肥	7.0kg
	基肥一発	12.0kg
飼料用米	基肥+穂肥	5.0~7.0kg
	基肥一発	9.0~12.0kg

※基肥一発の基肥チッソ量は、穂肥分も含んだ総チッソ量を示す。

※地力が高く、毎年倒伏してしまうほ場では、基肥チッソ量を更に減らしましょう。

## ④作土層15cmを目標に深耕をこころがけましょう！

できるだけ田んぼを乾かしてから耕うんしましょう。耕うん作業はあせらず、ゆっくり丁寧に、十分な作土深を確保しましょう。



～お問合せは、お近くのJAまたは普及指導センターへ～

**地域一丸となった取り組みで、全量1等米を目指しましょう！**